

福島県のこどもの数（15歳未満人口）～こどもの日にちなんで～

《平成22年4月1日現在推計人口：福島県現住人口調査結果》

福島県企画調整部統計調査課

TEL（直）024-521-7145

（代）024-521-1111 内線 2434

福島県のこどもの数は、280,965人、県人口の13.8%

平成22年4月1日現在の本県のこどもの数（15歳未満人口）は、280,965人で前年より6,094人減少した。男女別では、男子が143,837人、女子が137,128人で、男子が女子より6,709人多く、性比（女性100人に対する男性の数）は104.9となっている。

県人口に占めるこどもの数の割合は13.8%で、前年より0.2ポイント低下した。

年齢階級別にみると、5歳以下（未就学の乳幼児）は102,092人（県人口に占める割合5.0%）、6～11歳（小学生の年代）は117,025人（同5.8%）、12～14歳（中学生の年代）は61,848人（同3.0%）となっている。

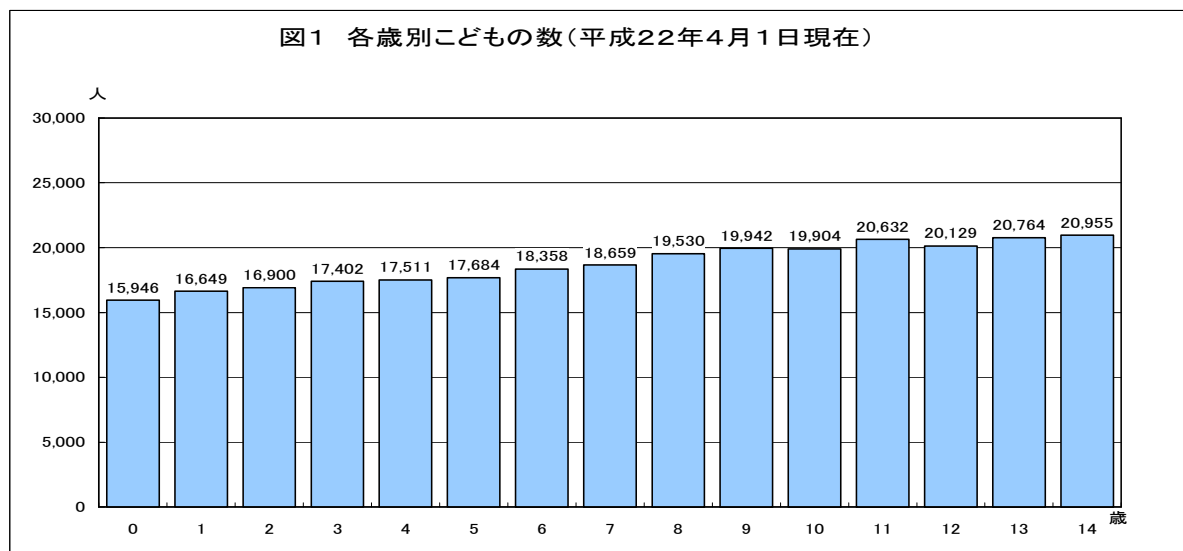
表1 こどもの数

（単位：人、%）

区 分		平成22年4月1日現在					平成21年4月1日現在	
		総人口	こどもの数(0～14歳)			総人口	こどもの数(0～14歳)	
			0～5歳	6～11歳	12～14歳			
人 口	計	2,032,302	280,965	102,092	117,025	61,848	2,044,914	287,059
	男	986,068	143,837	52,325	60,001	31,511	992,363	146,987
	女	1,046,234	137,128	49,767	57,024	30,337	1,052,551	140,072
こどもの割合		—	13.8	5.0	5.8	3.0	—	14.0

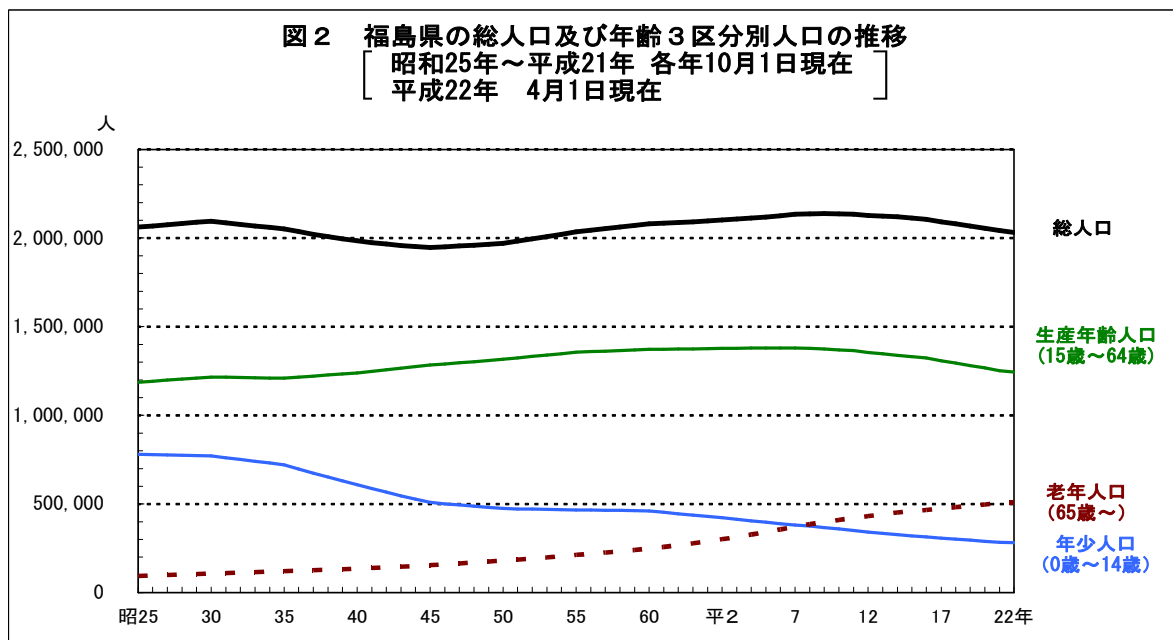
年齢が下がるほど少ないこどもの数

こどもの数を各年齢別にみると、14歳が20,955人と最も多く、全体的に低年齢化するにつれて少なくなる傾向にある。



減少を続けるこどもの数

県内のこどもの数（年少人口）は、昭和25年以後は出生数の減少傾向を反映し、減少を続けている。その結果、平成8年には年少人口（0～14歳）と老年人口（65歳以上）が逆転し、老年人口が年少人口を上回ることとなった。



(注) 国勢調査及び福島県現住人口調査による。

表2 年齢3区分別人口及び構成比の推移 [昭和25年～平成21年 各年10月1日現在]
 [平成22年 4月1日現在]

人口・構成比 年次	総人口	年齢別人口					
		年少人口		生産年齢人口		老年人口	
		実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
昭和25年	2,062,394	780,838	37.9	1,187,059	57.6	94,391	4.6
30年	2,095,237	771,329	36.8	1,216,140	58.0	107,749	5.1
35年	2,051,137	720,721	35.1	1,208,990	58.9	121,426	5.9
40年	1,983,754	608,959	30.7	1,239,658	62.5	135,137	6.8
45年	1,946,077	508,172	26.1	1,283,176	65.9	154,729	8.0
50年	1,970,616	473,903	24.0	1,316,161	66.8	180,356	9.2
55年	2,035,272	466,840	22.9	1,355,601	66.6	212,704	10.5
60年	2,080,304	460,767	22.1	1,371,556	65.9	247,947	11.9
平成2年	2,104,058	422,064	20.1	1,377,857	65.5	301,552	14.3
7年	2,133,592	381,511	17.9	1,380,208	64.7	371,572	17.4
12年	2,126,935	341,038	16.0	1,353,500	63.6	431,797	20.3
13年	2,124,404	333,820	15.7	1,347,519	63.4	442,465	20.8
14年	2,119,382	327,292	15.4	1,339,192	63.2	452,298	21.3
15年	2,112,489	320,372	15.2	1,330,921	63.0	460,596	21.8
16年	2,104,850	314,449	14.9	1,324,047	62.9	465,754	22.1
17年	2,091,319	307,294	14.7	1,307,734	62.5	474,860	22.7
18年	2,080,186	301,513	14.5	1,295,007	62.3	482,235	23.2
19年	2,068,352	295,454	14.3	1,281,510	62.0	489,957	23.7
20年	2,055,496	289,998	14.1	1,267,314	61.7	496,753	24.2
21年	2,042,816	284,095	13.9	1,252,509	61.3	504,781	24.7
22年	2,032,302	280,965	13.8	1,243,759	61.2	506,147	24.9

(注1) 昭和25年から平成12年及び平成17年は国勢調査、その他の年は福島県現住人口調査による。

(注2) 年齢別人口に年齢不詳は含まない。よって年齢別人口の合計は総人口と一致しない。

こどもの数の割合は大熊町が最高

総人口に占めるこどもの数の割合を市町村別にみると、最も高いのは大熊町で16.29%、以下、鏡石町（15.76%）、中島村（15.70%）と続いている。

一方、こどもの数の割合が最も低いのは金山町で6.36%となっている。

表3 こどもの数の割合の高い市町村・低い市町村(平成22年4月1日現在)

(単位:人、%)

順位	上位5市町村				下位5市町村			
	市町村名	こどもの割合	こどもの数 (年少人口)	総人口	市町村名	こどもの割合	こどもの数 (年少人口)	総人口
1	大熊町	16.29	1,858	11,403	金山町	6.36	157	2,468
2	鏡石町	15.76	2,012	12,764	昭和村	7.22	103	1,426
3	中島村	15.70	789	5,024	三島町	7.68	151	1,967
4	西郷村	15.47	3,057	19,756	川内村	9.16	261	2,849
5	棚倉町	15.43	2,335	15,130	西会津町	10.08	745	7,388

図3 市町村別年少人口（平成22年4月1日現在）

